

## 8-4-26 社会マネジメント技術委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

令和4年度は、社会マネジメント技術委員会を2回(7月、1月)開催した。

社会マネジメント技術委員会を開催しない月でもメール等を活用し、後述する上位委員会から依頼される検討事項や傘下の専門委員会に関する情報交換を実施した(専門委員会・WGの月次報告・イベント報告、統括技術委員会・技術部会の審議・指示事項の周知・対応等)。

#### (2) 専門委員会の事業内容等について

本技術委員会傘下の専門委員会における令和4年度の主な活動内容等について以下に示す。

a) 都市計画専門委員会：①毎年継続実施しているRCCM教材作成は、都市計画関連制度の動向に合わせて随時改定を実施、②「都市計画講習会」の今年度開催はコロナ禍のため見送りとした。

b) 参加型計画専門委員会：①9月、10月、11月で現地視察などを含めた勉強会を実施、②1月には①の成果を紹介すると共に、都市・地域づくり分野におけるSIBを活用した取り組みやこれからの街づくりについてWEB方式による講習会を開催した。

c) 政策・事業評価専門委員会：①12月に「リアルタイム人流ビッグデータ分析の最前線」としたセミナーを開催、②更に12月には「QOLに基づく道路事業評価手法の開発とSDGsへの貢献評価」と題し、講師を招き委員会内で勉強会を開催した。

d) 環境専門委員会：①RCCM教材作成などの改訂作業を継承実施、②10月に兵庫県豊岡市で「円山川水系における流域治水に関する環境の取り組み」に関する講演会と現地見学会を開催、③外部委員会への参加として、公共工事の環境負荷低減施策推進委員会(国交省)と河川環境基図マニュアル改訂に向けた勉強会(リバーフロント研究センター)に出席した。

e) 施工管理専門委員会：①継続して実施しているRCCM教材を作成、②会員各社が受注した施工管理業務の実態についてアンケート調査を実施し、契約内容、職場環境等の調査を行い報告書としてとりまとめた。

f) 国土情報専門委員会：①流域治水を実現するための具体的な整理をするとともに提言書を取りまとめる活動を実施、②会員向けセミナーの開催は見送った。

g) 自動運転WG：①研究テーマ(オリンピックのフィードバック、各種最新動向等)について情報の収集・整理、②5月に自動運転バス社会実装の先進事例である茨城県堺町の視察をWGメンバーにて行い、バス試乗、管制室見学、質疑応答等を行い、結果を取りまとめた。

#### (3) 個別検討テーマへの対応

統括技術委員会等からの依頼事項の中で主な検討内容について以下に示す。

##### a) まちづくりのDX

令和3年度からの検討を継続し、エリアマネジメントに資するDX推進の方向性やあるべき姿、具体的な活用・展開場面設定等から、先進事例からみた課題とそれらを踏まえたDX推進に向けた仕組みの提案をとりまとめた。

##### b) その他

共通仕様書・歩掛改定要望への意見集約、「令和5年度 要望と提案」に関する資料作成と調査資料集のデータ更新などへの対応を行った。

### 2. 次年度の活動について

社会マネジメント技術委員会として、令和元年度から始まった本事業を引き続き実施する。

(1) 事業計画に基づく技術委員会の定例的活動

(2) 委員会が対応すべき分野横断的な諸テーマの検討、特に技術部会や統括技術委員会等から依頼される各種検討事項等への対応

(3) 「まちづくりのDX」に関する検討継続が決定したため、来年度は活用・展開の6場面での建コンが役割を担うための新たな実施事例や具体的な環境整備内容の整理・とりまとめ

(社会マネジメント技術委員会委員長 篠崎 毅)